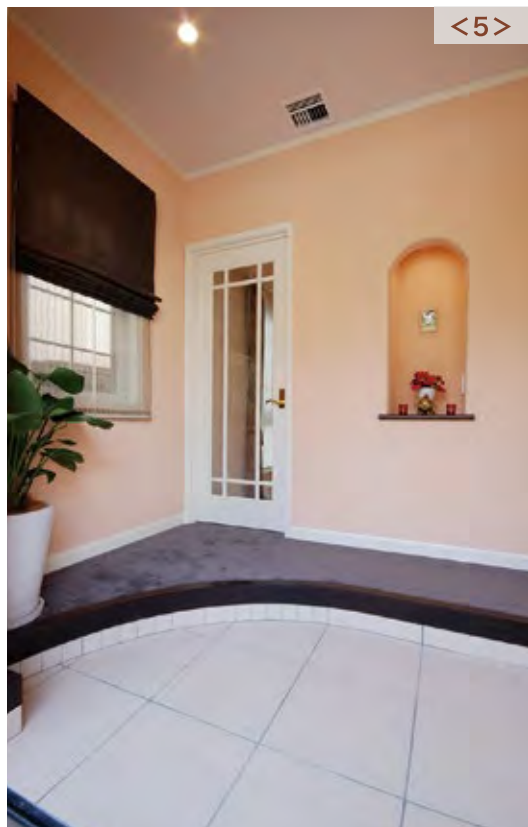
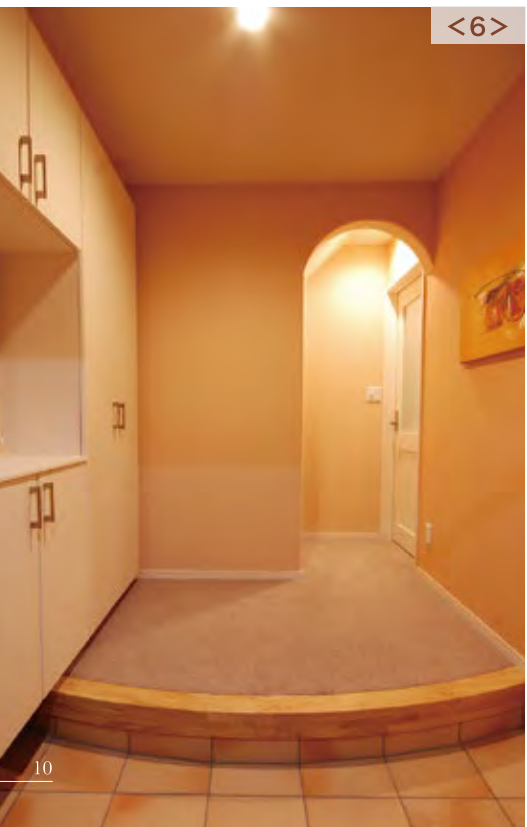
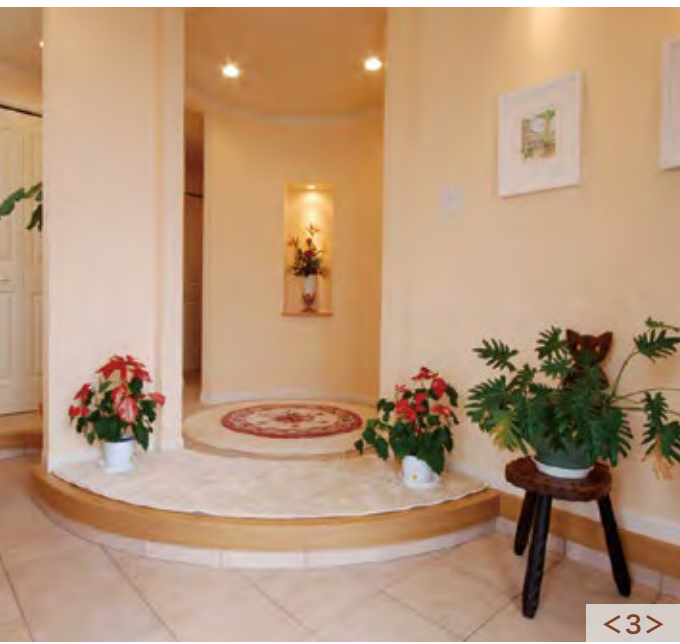


【写真1】朱色の壁紙をアクセントに用いた玄関ホール。全体的に暖色系の壁紙と床材でまとめており、温もりを感じさせる空間となっています。北向きの玄関などはこのような暖色系の色彩を選定して、寒さや暗さを感じさせない空間に仕上げるのが大切です。【写真2】前ページと同じ朱色の壁紙を正面のニッチ（飾り棚）に配した空間。周囲の壁紙を薄いベージュにすることでアクセントの朱色を際立たせ、視線を集中させることで、より強くエネルギーを集められる働きがあります。【写真3・5】優しいサーモンピンクの壁紙を基調とした玄関ホール。床の色を暖色系にすると優しく家庭的なイメージに、白い大理石や濃い色調のカーペットを採用すると高級感やモダンな雰囲気を演出できます。壁のニッチ（飾り棚）には花や植物を飾ることで空間の質を高め、良い気を集めることができます。【写真4・6】窓のない玄関ホールの場合、黄色や濃いベージュなどの壁紙を採用することで、暗さを感じさせずにエネルギーの高い空間にすることが可能です。色彩は視覚情報であり、色が濃ければそれだけ情報量も多くなる為、空間を満たすエネルギーも高まるという考え方に基づいたデザインとなっています。色彩のエネルギーを高める為に、照明は電球色（オレンジ系）を採用することが重要です。



# Feng-Shui Gallery

special edition vol.78

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

## 『空間ごとに考える色彩の働き』

～玄関編～



**玄関は家の顔ともいえるべき空間  
家の中に良い気を取り込めるような色彩を選定するとともに  
空間を構成する素材や形状などにも考慮して  
デザインすることが大切です**

明るい玄関は良い気を集めます。暖色系の色彩を配した玄関は訪れる人々の気持ちに「安心感」「温もり」を与えてくれます。

風水では、玄関を人間の体の「口（くち）」に対応すると考えています。玄関は良い気を取り込み、家の中へ循環させる為の重要な空間といえます。